

市政ニュース

空き容器回収機(RVM)が市内3カ所に設置 資源の循環を図る取組みがスタート

環境への取組みを推進している本市で、11月14日、(株)にしがき、(株)トヨタ、豊岡駅通商店街振興組合の3者が共同で、空き容器回収機(RVM)を新たに市内3カ所に設置し、空き缶、空きペットボトルを回収して、資源の循環を図る取組みがスタートしました。

当日は、運営開始のセレモニーが豊岡駅通商店街ここのとりステーション「サンスト館」で行われ、豊岡駅通商店街振興組合理事長の鎌田好雄さんが「家庭ごみを減量し、資源の再利用を図り、地球温暖化を抑制したい」とあいさつしました。

また、この取組みは、資源



RVMに空き缶を入れる子ども

の循環を図るだけでなく、回収機専用のポイントカード「ECONETカード」を使い、空き缶やペットボトルを回収機に入れることによりポイントが積算され、400ポイント(1,200本分)で5000円の商品券に交換できる特典付きです。

なお、ポイントカードは、回収機設置店舗の「にしがき元町店」「イトバリーユー江本店」および「豊岡駅通商店街振興組合事務所」で発行します。ぜひ、利用ください。

コウノトリ但馬空港の搭乗者が30万人達成 30万人目の搭乗者は馬場泉実さん

11月27日、コウノトリ但馬空港の定期便(但馬・大阪路線)の搭乗者が、平成6年5月に開港以来、累積30万人に達し、記念セレモニーが同空港で行われました。

30万人目の搭乗者になったのは、豊岡市寿町の馬場泉実さんで、出迎えた中貝市長や南向但馬県民局長らと一緒に、す玉を割って祝いました。

馬場さんには、空港職員から花束と往復航空券(但馬・大阪)、コ



空港職員から花束を受け取る馬場さん(写真左)

ウノトリ育む米10キログラム
の記念品が贈られました。
馬場さんは「運が良くなつたような気がします。飛行時間が短く、疲れないので以前から利用しています」と笑顔で話していました。

第1回新庁舎建設市民検討委員会を開催 新庁舎の建設に向け準備が進む

11月28日、第1回新庁舎建設市民検討委員会を市役所で開催しました。

当日は、中貝市長から学識経験者や公募の市民3人を含む15人の委員に、委員委嘱書が手渡され、委員長には、角野幸博委員(関西学院大学教授)が、副委員長には、池田啓

委員(県立コウノトリの郷公園研究部長)が選任されました。今後は、新庁舎の機能、規模および施設計画に関することや、新庁舎の建設位置に関するについて検討を重ね、平成20年度末までに検討結果を市長に報告することになっています。

主な市政の動き

- 【11月】
- 13日・バイオディーゼル燃料(BDF)を学校給食配送車に使用
- 14日・市議会正副議長等役員人事決定
- ・空き容器回収機RVMを市内3カ所に設置
- 17日・赤ちゃん運動会元気に大きなあーれ
- 22日・仲田光成記念「第7回豊岡竹野全国かな書展」(25日)
- 23日・日本文化デザイン会議2007兵庫豊岡会議
- 25日・仲田光成記念豊岡竹野かな書碑街道づくり事業竣工式
- ・子どもの野生復帰大作戦推進フォーラム
- 26日・ペレットストーブ設置
- 27日・コウノトリ但馬空港(但馬 大阪路線)搭乗者30万人達成
- 28日・豊岡市地域公共交通会議
- 【12月】
- 4日・「出石のまちなみ」が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定
- ・とよおか子育て家庭応援カード発行
- 7日・「平尾家住宅」が国登録有形文化財に答申
- 10日・市ホームページに子育て情報サイトを開設

平尾家住宅が国登録有形文化財に答申される

建物や土蔵など43件が登録の対象に

12月7日、「平尾家住宅」が国登録有形文化財（建造物）として、国の文化審議会から文部科学大臣に答申されました。これで、市では、「赤木家住宅」「豊岡市役所南庁舎別館（兵庫県農工銀行豊岡支店）」に続き、3番目の登録になります。建物や土蔵、それを取り囲む塀や門など、全部で43件が登録の対象になりました。

「平尾家住宅主屋」は明治29年に建築されました。屋根は石州の赤瓦を使って豪壮なつくりになっており、小屋をトラス組みにしていち早く洋風技術も導入しています。また、大材を使用して内部は漆塗り仕上げられています。

そのほかの建物も江戸後期から昭和前期にかけて代々整えられ、建築当初から大切に受け継がれてきた屋敷構えが良好に保存されています。

主屋が、造形の規範となっているもの、その他が、国土の歴史的景観に寄与しているものとして、国登録の対象になります。



市で3番目の登録を受ける平尾家住宅。江戸後期からの建物もきれいに保存されている

ました。なお、平尾家住宅」は非公開になっています。

豊岡市除雪隊が発足

雪シーズンに備えて除雪体制が整う

11月30日、市役所前駐車場で豊岡市除雪隊の発隊式を行いました。担当職員104人の除雪体制が整いました。

除雪隊は、民間業者とともに、15センチメートルの積雪になると午前4時から出勤し、市道や通学道路など総延長608・5キロメートルを128台の除雪車で除雪します。

中貝市長は「水害だけでなく雪も市民の生活を脅かします。緊張の糸を緩めることなく業務に従事してください」と訓示を行いました。

冬期間（12月～3月）の雪道の通行確保について、市として全力を尽くしますが、市民の皆さんも路上駐車などをしないように協力をお願いします。



除雪担当職員に訓示を行う中貝市長

とよおか子ども情報すくすくタウンホームページを開設

市ホームページに子育て情報専門ページを開設

市では、「次世代育成支援対策地域行動計画」に基づき、「子育てが楽しいまち・子どもが元気に育つまち」を目指し、さまざまな事業を展開しています。

その一環として、安心して子どもを生み、楽しく育てられるよう子育てに関する情報を積極的に紹介していくため、子育て支援の専用ホームページ「すくすくタウン」を、12月10日、市ホームページに開設しました。

このホームページは、知りたい情報を検索しやすいよう「目的」「ライフステージ」などのジャンルに分けています。

また、「健診カレンダー」では、各地域の健診や育児教室などの予定を知らせるとともに、「地域の子育てセンター」に関する情報や子育てに関するさまざまな話題を、子育てセンター指導員が綴っていく「すくすくコラム」もあります。

今後は、順次、内容を更新していきますので、ぜひ、こ

覧ください。
<http://www.city.toyooka.lg.jp/>



新たに開設した子育て情報専門ページ「すくすくタウン」

田鶴野地区県民交流広場に「ここ広場」が完成

地域活動の拠点施設として活用

12月2日、田鶴野地区県民交流広場（愛称・「ここ広場」）が田鶴野地区公民館の中に完成し、関係区長・行政関係者・地元関係者などが集り、竣工式が行われました。

竣工式では、田鶴野幼稚園の園児が合唱やハンドベルの演奏で華を添え、関係者らがくす玉を割って完成を祝いました。

また、関連施設として敷地内に会議室と倉庫を増設しました。

今後、公民館活動や地域コミュニケーション活動がさらに活発に行われることが期待されます。



竣工式でハンドベルを披露する田鶴野幼稚園の園児たち